



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月14日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
コード番号 2411 URL <https://www.gendai-a.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
四半期報告書提出予定日 2023年7月31日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5308-9888

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,963	4.2	99	7.3	98	18.8	76	22.0
2023年3月期第1四半期	1,884	7.8	107	332.4	121	297.6	98	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 87百万円 (11.5%) 2023年3月期第1四半期 99百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.08	
2023年3月期第1四半期	7.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	5,736	4,155	72.4	337.88
2023年3月期	6,056	4,389	72.5	342.91

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,155百万円 2023年3月期 4,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		7.00		8.00	15.00
2024年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	6.0	500	24.5	500	18.8	400	8.2	31.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	12,799,700 株	2023年3月期	12,799,700 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	499,700 株	2023年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	12,612,132 株	2023年3月期1Q	13,697,613 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注状況	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は収束しつつあり、持ち直しの動きが見られます。一方で、エネルギーや原材料価格の高騰による消費者物価の上昇もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、昨年11月より導入された次世代パチスロ機において、本年4月に注目機種が導入されたこともあり、業界活性化への期待が高まる傾向にあります。

パチンコホール広告市場においては、次世代機導入による需要に加え、本年1月に警察庁より公表された「ぱちんこ営業における広告及び宣伝の取扱いについて」の通達によって、各都道府県においてパチンコホールの広告規制見直しの動きがあったこと等もあり、緩やかながら広告需要は回復の兆しが見られます。しかしながら、今後も次世代機導入に必要な投資資金確保のため、広告費支出は抑制傾向にあります。

一方で、パチンコホール以外の広告分野については、フィットネス施設や住宅関連広告分野をはじめ、広告需要は増加基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール広告分野の最大化に努めました。更には、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

これらの取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は1,963百万円（前年同期比4.2%増）、売上総利益は587百万円（同3.3%増）と前年を上回ったものの、人員の増加や、昨今のインフレに対応するための賃上げ実施等、人的資本への投資の結果、販売費及び一般管理費が26百万円増加したことから、営業利益は99百万円（同7.3%減）、前期において一過性の為替差益の計上があったことから、経常利益は前年同期比18.8%減となる98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円（同22.0%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第1四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、本年4月に次世代パチスロ機の注目機種が導入されたこともあり、一時的に盛り上がりを見せたものの、5月以降は新台入替需要が落ち着いたことに加え、次世代パチンコ機の評価が定まらなかったこともあり、広告需要は緩やかな増加に留まりました。また、一部顧客においては引き続き次世代機への設備投資資金確保のため、広告費抑制に努める動きもあり、今後の需要の傾向は不透明な状況にあります。

パチンコホール広告以外の分野の広告市場においては、主力のフィットネス施設や住宅関連分野の広告需要は、堅調に推移しました。

こうした環境下において、当社グループでは、主力のパチンコホール広告分野のほか、広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は1,946百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は160百万円（同3.8%減）となりました。

(不動産事業)

当第1四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料収益2百万円の計上がありました。

その結果、売上高は15百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は4百万円（同7.4%減）となりました。

(その他)

当第1四半期連結累計期間においては、キャンピングカーレンタル事業等による、売上高は1百万円（前年同期比35.0%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,736百万円となり、前連結会計年度末比320百万円の減少となりました。これは、主に自己株式の取得等により現金及び預金が368百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,580百万円となり、前連結会計年度末比87百万円の減少となりました。これは、主に借入金が37百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,155百万円となり、前連結会計年度末比233百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益76百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当102百万円及び自己株式取得218百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね当初計画どおりに進捗しております。よって、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,735	3,366
受取手形、売掛金及び契約資産	988	992
有価証券	—	123
未収還付法人税等	38	42
その他	84	83
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,847	4,608
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	531
その他(純額)	81	81
有形固定資産合計	603	612
無形固定資産		
のれん	36	33
その他	74	69
無形固定資産合計	110	102
投資その他の資産	495	412
固定資産合計	1,209	1,127
資産合計	6,056	5,736
負債の部		
流動負債		
買掛金	555	532
1年内返済予定の長期借入金	287	287
未払法人税等	59	22
その他	165	177
流動負債合計	1,067	1,019
固定負債		
長期借入金	562	525
資産除去債務	8	8
その他	28	27
固定負債合計	599	561
負債合計	1,667	1,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	953	953
利益剰余金	3,332	3,306
自己株式	—	△218
株主資本合計	4,385	4,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	14
その他の包括利益累計額合計	3	14
純資産合計	4,389	4,155
負債純資産合計	6,056	5,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,884	1,963
売上原価	1,315	1,375
売上総利益	569	587
販売費及び一般管理費	461	488
営業利益	107	99
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	14	1
その他	1	0
営業外収益合計	16	2
営業外費用		
支払利息	0	1
その他	0	2
営業外費用合計	1	3
経常利益	121	98
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	121	101
法人税、住民税及び事業税	20	17
法人税等調整額	2	7
法人税等合計	23	25
四半期純利益	98	76
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	76

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	98	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	10
その他の包括利益合計	0	10
四半期包括利益	99	87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	87
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式499,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が218百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,869	12	1,881	2	1,884	—	1,884
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,869	12	1,881	2	1,884	—	1,884
セグメント利益又は損失 (△)	166	5	171	△0	171	△64	107

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△64百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,946	15	1,961	1	1,963	—	1,963
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,946	15	1,961	1	1,963	—	1,963
セグメント利益又は損失 (△)	160	4	165	△1	163	△64	99

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△64百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△64百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
インターネット	660	109.1
折込広告	653	92.2
販促物	284	117.3
クリエイティブ	135	114.7
媒体	58	102.0
その他	152	112.1
広告事業計	1,946	104.1
不動産事業	15	120.3
その他	1	65.0
合計	1,963	104.2